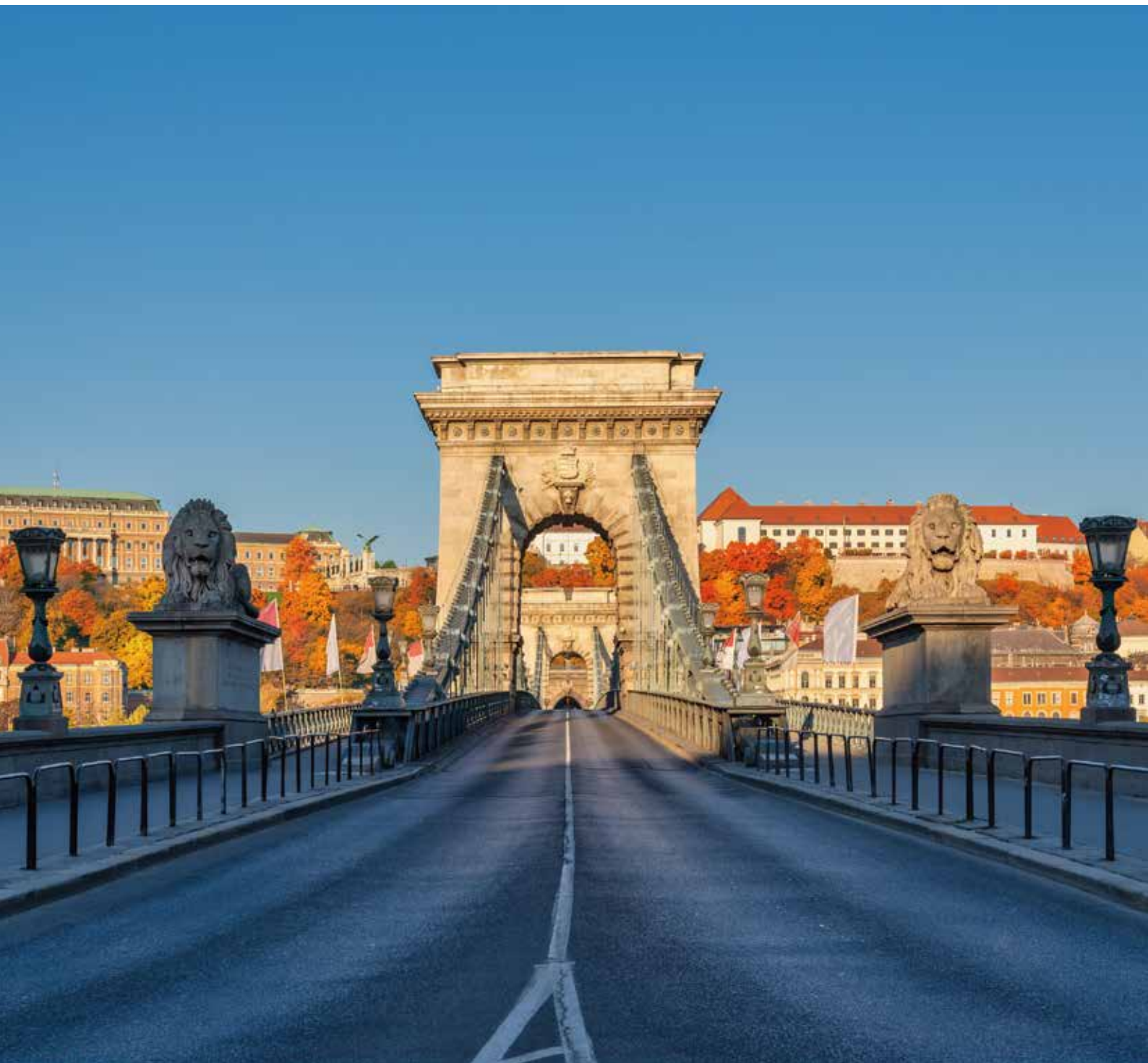


年金基金だより

— 令和3年度決算版 —



表紙写真＝ハンガリー／ブダペスト セーチェニ鎖橋とブダ城

旭化成企業年金基金

◆住所・電話番号が変更になりました。
〒882-0053 宮崎県延岡市幸町三丁目101番地
延岡駅西口街区ビル4階
電 話：0120-681-835（フリーコール）
：0982-22-2429（代表）
Email：kikin@om.asahi-kasei.co.jp
ホームページ：http://www.asahikasei-kikin.or.jp

令和3年度決算のお知らせ

7月8日に開催されました第45回代議員会で、当基金の令和3年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

■令和3年度の市場概況について

令和3年度は、ワクチン接種拡大による経済活動再開や良好な企業業績等から、先進国を中心に株価は上昇しました。そのような環境下において、当基金の実績は+5.11%となりました。

年金経理

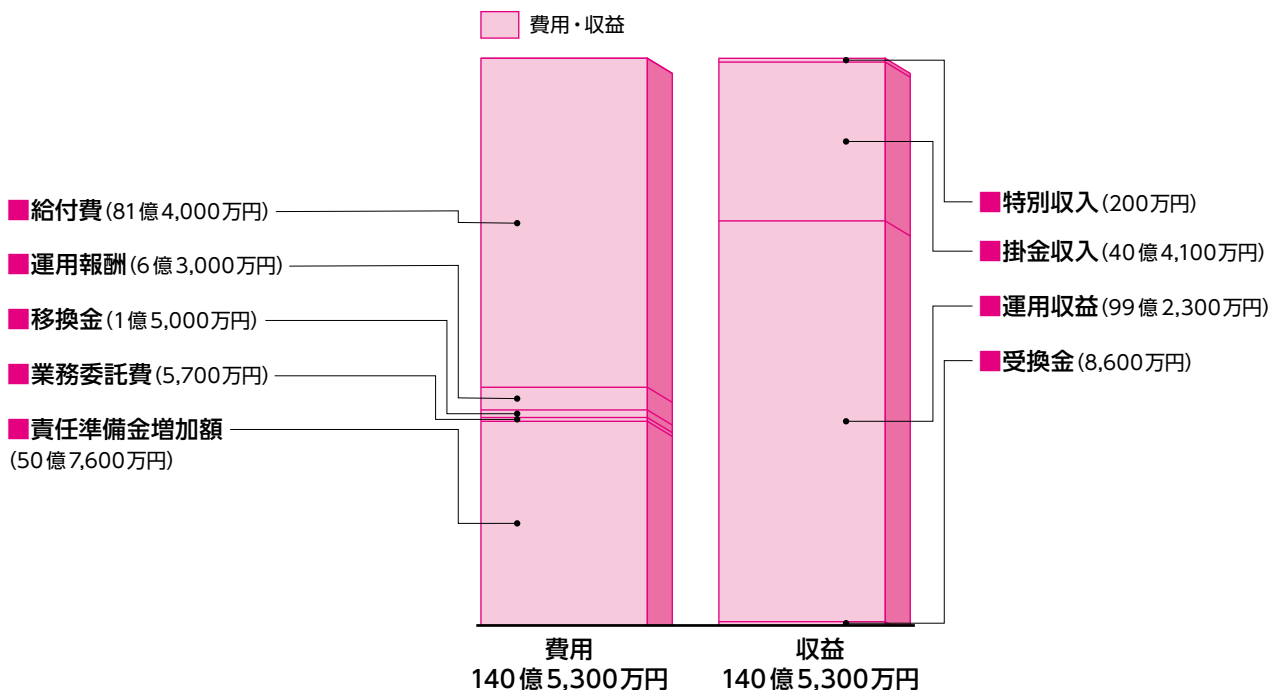
年金の給付や掛金の受け入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。

1年間の収支状況 (損益計算書)

50億7,600万円の責任準備金増加額が発生しました。

令和3年4月1日～令和4年3月31日

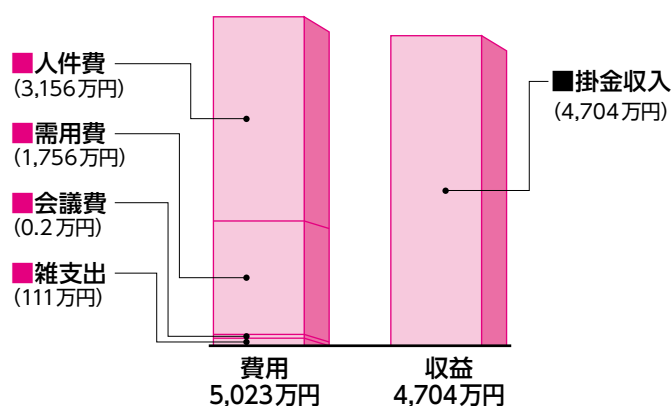
当年度決算(経常収支)では、支出総額が89億7,600万円に対し、収入は140億5,300万円となりました。今年度は99億2,300万円の運用収益を得ました。



業務経理

業務会計

基金を運営するための経費を処理する会計です。各種費用の見直しを行い経費削減に努めました。



■年金資産の積立状況について

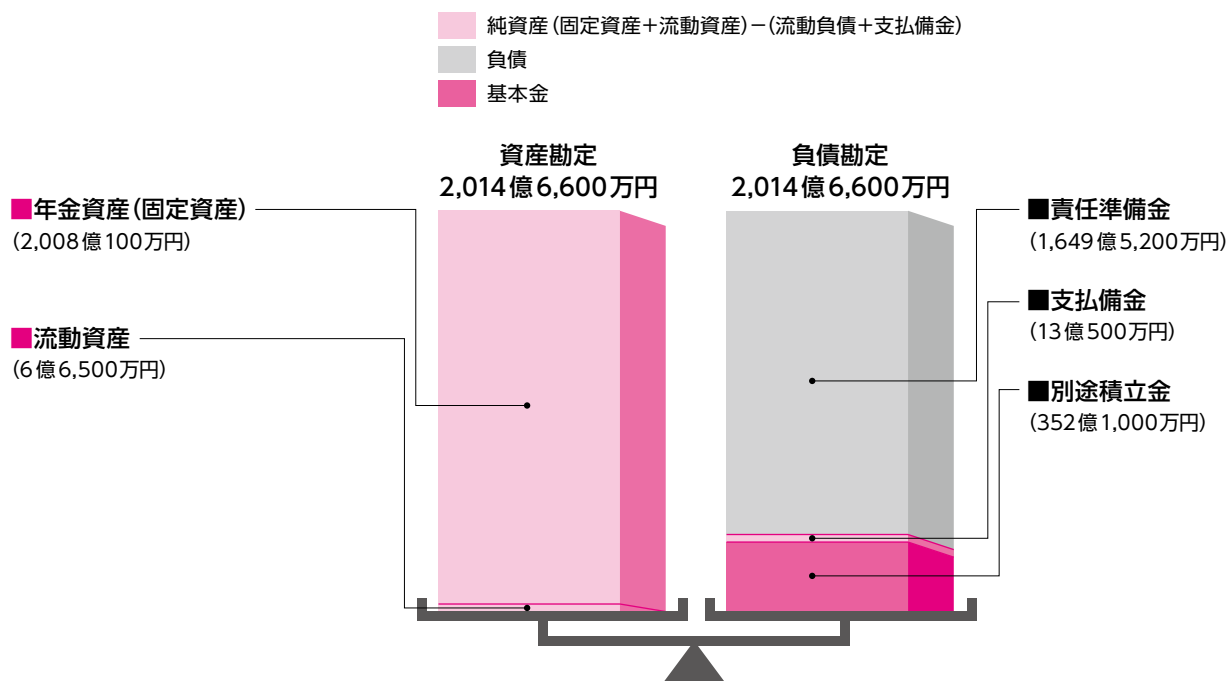
当年度の積立状況は、年金資産額(固定資産)が51億6,300万円増加し、2,008億100万円になりました。

資産と負債のバランス (貸借対照表)

年金資産(固定資産)は2,008億100万円となりました。

令和4年3月31日現在

当年度末における年金資産(固定資産)は、2,008億100万円となりました。一方、将来の年金給付のために積み立てられているべき責任準備金は1,649億5,200万円となっています。



基金では財政検証を実施しています

基金では、加入者・受給(権)者の皆さまの受給権保護のために、決算期ごとに年金資産の積立状況を2つの方法(継続基準、非継続基準)で検証しています。検証の結果、基準値をクリアしていない場合は、財政計画の見直し(変更計算)が必要になります。

■継続基準

将来の給付への備えに対して、財政計画上、現時点で保有しておくべき年金資産が積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{責任準備金}} = 1.21 \text{ (基準値: 1.0以上)}$$

●検証結果

純資産額が責任準備金を上回っており、基準値をクリアしています。年金資産は順調に積み立てられており、掛金の見直しを行う必要はないことが確認されました。

■非継続基準

現時点で基金が解散したと仮定した場合に、加入者・受給(権)者への年金給付を賄う年金資産が積み立てられているかを検証します。

$$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額}^*} = 1.10 \text{ (基準値: 1.0以上)}$$

●検証結果

最低積立基準額に対する純資産額の割合が、基準値である1.0を上回っており、基準値をクリアしています。積立水準を確保するための措置を行う必要はないことが確認されました。

* 最低積立基準額: 現時点で基金が解散したと仮定した場合に、加入者・受給(権)者の加入期間に見合った給付を賄うために必要な年金資産。

データで見る決算

年金経理

年金の給付や掛金の受け入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。
資産額は時価により、表示しています。

■貸借対照表(令和4年3月31日現在)

(百万円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
1. 純資産			
流動資産	665	流動負債	0
(預貯金)	(333)	(未払運用報酬等)	(0)
(未収掛金)	(332)	(未払業務委託費)	(0)
(未収受換金その他)	(0)	(預り金)	(0)
固定資産	200,801	支払備金	1,305
(信託資産)	(175,736)	(未払給付費)	(1,275)
(保険資産)	(25,065)	(未払移換金)	(30)
計	201,466	計	1,305
2. 負債			
		責任準備金	164,952
計	0	計	164,952
3. 基本金			
繰越不足金	0	別途積立金	35,210
当年度不足金	0	当年度剰余金	0
計	0	計	35,210
総合計	201,466	総合計	201,466

用語の説明

流動資産

現金や普通預金などと、当年度分の掛金収入などで、入金が翌年度になる分。

固定資産

年金給付のために積み立て、運用を行っている年金資産。

流動負債

当年度分の費用のうち、支払いが翌年度になる分。

支払備金

年金や一時金の支払時期が来ているが、実際の支払いが翌年度になる分。

責任準備金

年金給付のために、現時点で積み立てていなければならない積立金の必要額。

業務経理・業務会計

基金を運営するための経費を処理する会計です。

■損益計算書(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(千円)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
役職員給与	19,630	掛金収入	47,036
役職員諸手当	11,821	雑収入	1
旅費	105		
代議員旅費	0		
需用費	17,564		
会議費	2		
雑支出	1,108		
代議員会需用費	0		
代議員会会議費	0		
計	50,230	計	47,037

■繰越剰余・不足金の状況(令和4年3月31日現在)

(千円)

科目	決算額	科目	決算額
前年度繰越不足金	0	前年度繰越剰余金	28,630
当年度不足金	0	当年度剰余金	▲3,193
計	0	計	25,437

- ・業務経理の掛金は、会社が拠出をしています。
- ・不測の事態に備えて、最低でも年間支出総額の12分の3(3か月分)が次年度繰越剰余金として期末に残る予算としております。

令和3年度 決算のお知らせ

■損益計算書(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

(百万円)

費用勘定		収益勘定	
科目	決算額	科目	決算額
1. 経常収支			
給付費	8,140	掛金収入	4,041
移換金	150	受換金	86
運用報酬	630	運用収益	9,923
業務委託費	57		
運用損失	0		
計	8,976	計	14,051
2. 特別収支			
特別支出	0	特別収入	2
繰入金	0	受入金	0
計	0	計	2
3. 負債の変動			
責任準備金増加額	5,076	責任準備金減少額	0
計	5,076	計	0
4. 基本金			
繰越不足金処理金	0	別途積立金取崩金	0
別途積立金積増金	0	当年度不足金	0
当年度剰余金	0		
計	0	計	0
総合計	14,053	総合計	14,053

用語の説明

給付費

年金や一時金を給付した額。

掛金収入

加入者と会社からの掛金。

移換金/受換金

基金を脱退・再加入した人の年金原資を、企業年金連合会とやりとりした分。

運用報酬

資産運用を委託する信託銀行、生命保険会社、投資顧問会社に支払った手数料・報酬。

業務委託費

基金が業務の一部を委託した機関に支払った手数料。

運用収益

年金資産を信託銀行や生命保険会社、投資顧問会社などの運用機関で運用して生じた収益。

特別支出/特別収入

雑収入や掛金の徴収不足分など。

〈基金の業務概況〉

(令和4年3月31日現在)

●加入者数

計	13,101 人
---	----------

●受給待期者数

裁定済待期者	115 人
未裁定待期者	214 人
合計	329 人

●給付状況

老齢給付金	年金	8,643 件	6,140,921,700 円
	一時金	161 件	1,474,070,300 円
脱退一時金		91 件	184,325,000 円
遺族給付金		61 件	294,919,600 円

〈まだ年金を受け取っていない(受給待期者)方へ〉

令和4年度の第三年金の運用利率が0.0%に決定しましたので、お知らせいたします。なお、利率は下記により決定いたします。

利率：10年国債の応募者利回りの過去5年平均

※参考までに過去の利回りは右記の通りです。

令和3年度	0.0%	平成30年度	0.3%
令和2年度	0.1%	平成29年度	0.5%
令和元年度	0.2%	平成28年度	0.7%

令和3年度 資産運用結果レポート

運用利回りは+5.11% 資産残高合計2,008億円

■令和3年度の当基金の運用結果

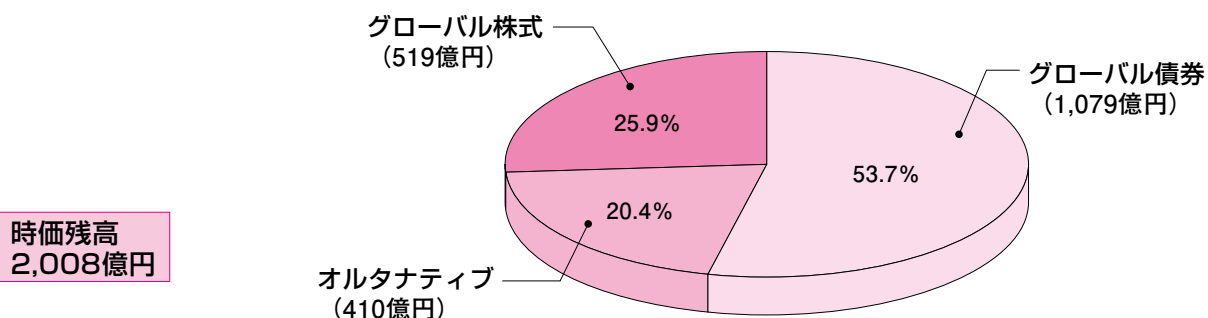
各国金融引き締めやウクライナ情勢の緊迫化などにより、市場は一時調整局面を迎えたものの、経済活動再開や良好な企業業績等から、先進国を中心に株式は上昇しました。日米の長期金利は上昇し、為替は対円でドル高、ユーロ高方向に推移しました。基金全体では+5.11%となりました。

■令和3年度 資産構成別運用結果 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	当基金の収益率 (a)	市場の収益率 (b)	差異 (a) - (b)
資産全体	5.11%	4.67%	0.44%
グローバル債券	▲1.73%	▲2.06%	0.33%
オルタナティブ	13.04%	6.82%	6.22%
グローバル株式	14.01%	18.34%	▲4.33%

■令和3年度末 資産構成割合

各資産に分散投資してリスク分散を考慮しながら運用しています。



■基本ポートフォリオについて

当基金では、中長期的に必要な収益を確保するために最適な資産配分である「基本ポートフォリオ」を策定し、これを遵守しながら資産運用を行っています。

基本ポートフォリオは制度変更や大幅な人員構成の変化など、前提条件の大幅変更がない限りは5年程度は維持し、長期運用を行います。

■新基本ポートフォリオ

グローバル債券 55%	オルタナティブ* 20%	グローバル株式 25%
----------------	-----------------	----------------

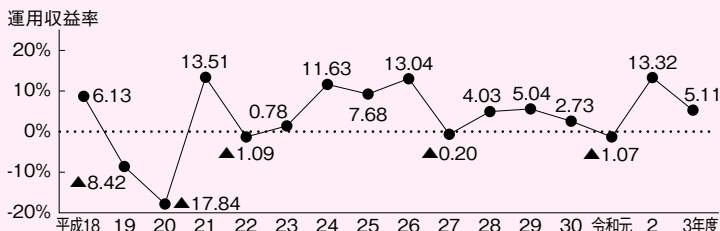
*オルタナティブとは債券、株式以外のことで、不動産、ヘッジファンドなどの資産。債券、株式との分散投資効果や収益源泉の多様化を期待しています。

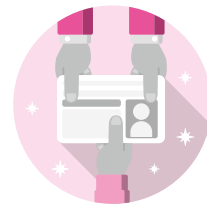
■基金の資産運用

年金資産は長期運用

資産運用は市場環境に影響をうけますので、単年度で見ると目標とする運用利回りを達成できない場合もあります。しかし、基金制度は長期間にわたって制度が継続するよう設計・運営されており、資産運用においても、中長期的に収益を確保することを目標としています。

■運用収益率の推移 (平成18年度～令和3年度)





令和4年5月13日から高齢運転者の 運転免許更新制度が変更されました

令和4年5月13日から75歳以上の人¹が運転免許を更新する際に受ける認知機能検査の内容が改定されたほか、一定の違反歴のある人²に対しては、運転技能検査が義務化されました。

運転免許更新時における認知機能検査の見直し

高齢運転者対策の充実・強化を図ることを目的に、改正道路交通法が施行され、認知機能検査の内容が変更されました。

70歳以上の人¹が運転免許を更新する際には、高齢者講習の受講が必要となりますが、75歳以上の人¹は高齢者講習の他に認知機能検査を受ける必要があります。

認知機能検査はこれまで3項目ありましたが、令和4年5月13日からは、検査時の日付・曜日・時間を回答する「時間の見当識」と、一定のイラストを記憶し、後で回答する「手掛かり再生」の2つになりました。

認知機能検査の判定についてもこれまで、①認知機能が低下している恐れがない②認知機能が低下している恐れがある③認知症の恐れありの3区分でしたが、「認知症の恐れあり」と「認知症の恐れなし」の2区分に変更されました。さらに、認知機能検査の検査結果に基づいて2時間と3時間に分かれていた高齢者講習が、2時間の講習に一元化されました。

一定の違反歴がある人の運転技能検査の義務化

高齢運転者によるハンドルやアクセル、ブレーキ操作の誤りによる事故が増加していることを踏まえ、一定の違反歴がある75歳以上の人¹は運転免許更新時に運転技能検査を受けることが義務化されました。

75歳以上の人¹で、過去3年間に信号無視や逆走、追い越し車線での長時間走行、スピード違反、携帯電話使用などの違反*がある場合、運転技能検査を受けることになります。

これまでも高齢者講習には実車指導があり、方向転換や一時停止、クランク、S字カーブ、段差乗り上げなどの実技を行う仕組みがありますが、「試験」という形ではありませんでした。運転技能検査では、不合格となると運転免許の更新ができなくなります。ただし、運転技能検査の受検期間は、更新期間満了日前6ヵ月以内で、繰り返し受検することができます。なお、この検査は、普通自動車免許を持つ人だけが対象となります。

*信号無視、通行区分違反、通行帯違反等、速度超過、横断等禁止違反、踏切不停止等・遮断踏切突入り、交差点右左折方法違反等、交差点安全進行義務違反等、横断歩行者等妨害等、安全運転義務違反、携帯電話使用等

基金事務局より

平素は当基金の運営にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年度は、各国の金融引き締め¹の加速懸念やウクライナ情勢の緊迫化等により、市場は一時調整局面を迎えたものの、ワクチン接種の進捗等も相まって、経済活動の再開や良好な企業業績等から、先進国を中心に株式が上昇しました。

債権は金融引き締めの影響もありマイナス、また、日米の長期金利の上昇により為替は対円でドル

高・ユーロ高と推移しましたが、基金全体ではプラスの実績となり、年金財政は引き続き良好な状態を保っております。

社会環境の変化が激しく、先を見通すことが難しい状況が続きますが、基金としては今後も市場の動向を注意深く見守りながら、長期的に安定した運用・運営を心がけてまいります。

引き続き、基金の状況をお伝えしていきますので、今後ともご理解の程、よろしく願い申し上げます。

旭化成企業年金基金 理事長 西川 知

月山「地蔵沼」

てくてくてく
日本の絶景



写真提供：PIXTA

◎ アクセス

JR寒河江駅より車で70分

問 山形県西川町商工観光課

〒990-0792

山形県西村山郡西川町大字海味510

TEL:0237-84-0566

URL▶https://yamagatakanko.com/attractions/detail_213.html

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お出掛けの際は3つの「密」(密閉・密集・密接)を避け、体調が優れないときは外出を控えましょう。また、ご紹介先は自治体等の判断により観光を自粛している場合があります。ご確認の上、お出掛けください。

山形県庄内地方にある出羽三山は、古くから自然と信仰が息づく神聖な場所です。主峰月山は磐梯朝日国立公園内にあり、珍しい動植物やブナの原生林などの美しい大自然が残っています。地蔵沼は、その月山の山麓にあるブナの森に囲まれた神秘的な沼です。ブナの森が蓄えた湧き水が沼を水源として、下流の小見川に名水百選の水を送っています。紅葉の季節には、水面に映る燃えるような色彩のブナをカメラに収めようと、全国から写真愛好家が集まっています。